



平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年12月24日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 あさひ

コード番号 3333 URL <http://www.cb-asahi.jp/real/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 下田 進

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 古賀 俊勝

TEL 06-6923-7900

四半期報告書提出予定日 平成23年1月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の業績(平成22年2月21日～平成22年11月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	22,466	6.7	3,289	△4.7	3,311	△5.9	1,882	△6.9
22年2月期第3四半期	21,057	—	3,452	—	3,517	—	2,023	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	71.76	—
22年2月期第3四半期	77.10	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	16,162	11,767	72.8	448.46
22年2月期	14,319	10,180	71.1	387.97

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 11,767百万円 22年2月期 10,180百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	—	—	8.00	8.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年2月21日～平成23年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,006	15.4	3,777	3.3	3,801	2.0	2,177	3.8	82.99

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年2月期3Q 26,240,800株 22年2月期 26,240,800株

② 期末自己株式数 23年2月期3Q 303株 22年2月期 278株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年2月期3Q 26,240,511株 22年2月期3Q 26,240,546株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により記載の予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
【第3四半期累計期間】	6
【第3四半期会計期間】	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
(1) 仕入実績	9
(2) 販売実績	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、中国を中心とした新興国の経済成長や政府による経済対策により景気回復の兆しは見られたものの、雇用情勢は依然として厳しく、欧州の景気不安による円高の進行や株価の低迷など、先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況の中で、低価格志向・節約志向など、消費動向の変化もあり、自転車業界全体における販売数量も伸び悩む状況が続いておりますが、当社におきましては健康志向を背景として電動自転車については比較的順調に販売が伸びており、特に単価の高い幼児二人乗り適合の電動自転車が好調に推移いたしました。

一方で節約志向の流れから、自転車修理等の件数も増加し、自転車専門店としての高い技術を活かした店頭での迅速な修理対応と豊富な知識を活かしたアフターサービスにより、多くの顧客の支持を得ることができました。

販売チャンネルとしては、直営及びフランチャイズ展開での店舗販売、インターネット販売、ホームセンターや総合スーパー等への商品供給事業等、3つの柱により、今後とも多くの顧客ニーズに応えられるよう努めてまいります。

新規出店につきましては、関東地域へ13店舗、中部地域へ4店舗、関西地域へ3店舗、四国地域へ2店舗、九州地域に3店舗の計25店舗を出店するとともに、関東地域の1店舗を退店いたしました。またFC(フランチャイズ)店を中部地域に1店舗、関西地域に1店舗、九州地域に1店舗出店しております。この結果、当第3四半期会計期間末店舗数は直営店209店舗、FC店17店舗のあわせて226店舗となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は22,466百万円(前年同四半期比6.7%増)となりました。一方で、販売費及び一般管理費は人員の増加、店舗数の増加、新社屋竣工、物流倉庫増築等により8,381百万円(前年同四半期比15.4%増)と売上総利益の増加率を上回り、営業利益は3,289百万円(前年同四半期比4.7%減)、経常利益は3,311百万円(前年同四半期比5.9%減)、四半期純利益は1,882百万円(前年同四半期比6.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は、前事業年度末と比較して1,842百万円増加し、16,162百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して322百万円増加し、7,757百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加345百万円、売掛金の増加330百万円、商品の減少449百万円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して1,519百万円増加し、8,404百万円となりました。これは主に、新社屋竣工、物流倉庫増築及び新規出店に伴う建物の増加932百万円、差入保証金の増加226百万円、関係会社出資金の増加160百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債の残高は、前事業年度末と比較して255百万円増加し、4,394百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して207百万円増加し、4,098百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加214百万円、賞与引当金の増加198百万円、未払費用の増加112百万円、未払金の増加81百万円、未払法人税等の減少438百万円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比較して47百万円増加し、295百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は、前事業年度末と比較して1,587百万円増加し、11,767百万円となりました。これは主に、当第3四半期純利益による増加1,882百万円、剰余金の配当による減少209百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末と比較して345百万円増加し、3,102百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,495百万円となりました。主な増加要因は、税引前四半期純利益3,306百万円、たな卸資産の減少額543百万円、減価償却費363百万円等によるものであります。また、主な減少要因は、法人税等の支払額1,921百万円、売上債権の増加額330百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,940百万円となりました。主な要因は新社屋竣工、物流倉庫増築及び新規出店に係る有形固定資産の取得による支出1,235百万円、関係会社出資金の払込による支出160百万円、建設協力金の支払による支出236百万円、差入保証金の差入による支出246百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は209百万円となりました。主な要因は配当金の支払額209百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期の業績予想については、平成22年3月29日付「平成22年2月期 決算短信(非連結)」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

表示方法の変更

(四半期貸借対照表関係)

従来、有形固定資産に含めて表示しておりました賃貸用不動産(当第3四半期会計期間末残高383,208千円)は、当第1四半期会計期間末より投資その他の資産の「その他」に含めて表示しております。

これは、「賃貸等不動産の時価等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第20号 平成20年11月28日)及び「賃貸等不動産の時価等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第23号 平成20年11月28日)が適用されることを契機に、当該保有不動産の所有目的等を見直した結果、当面は営業の用に供する予定はなく、賃貸目的で所有する投資不動産として意思決定したことによるものであります。

なお、前第3四半期会計期間末の有形固定資産に含まれる当該資産は次のとおりであります。

建物	50,847	千円
土地	335,820	千円
その他	215	千円
計	386,882	千円

(四半期損益計算書関係)

前第3四半期累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「受取補償金」については、金額の重要性が増したため、当第3四半期累計期間では区分掲記いたしました。

なお、前第3四半期累計期間における営業外収益の「その他」に含まれている「受取補償金」は1,627千円であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,229,182	2,884,004
売掛金	787,845	457,175
商品	2,660,280	3,110,268
未着商品	272,098	365,574
貯蔵品	71,338	71,363
その他	738,694	547,948
貸倒引当金	△2,011	△1,882
流動資産合計	7,757,429	7,434,451
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,100,907	2,168,580
土地	1,274,888	1,610,708
その他(純額)	304,031	401,855
有形固定資産合計	4,679,828	4,181,144
無形固定資産		
	94,223	37,658
投資その他の資産		
差入保証金	1,719,971	1,493,563
建設協力金	977,312	826,670
その他	952,238	380,046
貸倒引当金	△18,984	△34,199
投資その他の資産合計	3,630,538	2,666,081
固定資産合計	8,404,590	6,884,884
資産合計	16,162,019	14,319,336

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,637,124	1,423,003
未払法人税等	691,344	1,129,723
賞与引当金	487,636	288,998
役員賞与引当金	—	20,600
その他	1,282,830	1,028,993
流動負債合計	4,098,935	3,891,318
固定負債		
役員退職慰勞引当金	184,640	166,816
その他	110,680	80,680
固定負債合計	295,320	247,496
負債合計	4,394,255	4,138,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,061,356	2,061,356
資本剰余金	2,165,171	2,165,171
利益剰余金	7,610,758	5,937,698
自己株式	△268	△239
株主資本合計	11,837,017	10,163,986
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,177	2,463
繰延ヘッジ損益	△72,431	14,070
評価・換算差額等合計	△69,253	16,534
純資産合計	11,767,763	10,180,521
負債純資産合計	16,162,019	14,319,336

(2) 四半期損益計算書
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年11月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)
売上高	21,057,553	22,466,907
売上原価	10,339,590	10,795,970
売上総利益	10,717,962	11,670,936
販売費及び一般管理費	7,265,050	8,381,608
営業利益	3,452,912	3,289,328
営業外収益		
受取利息	11,141	15,098
受取配当金	210	210
為替差益	16,457	6,305
受取家賃	32,200	33,492
受取補償金	—	16,719
その他	20,966	16,178
営業外収益合計	80,976	88,004
営業外費用		
支払利息	376	—
不動産賃貸原価	12,062	16,553
子会社設立費	—	42,506
その他	3,990	7,124
営業外費用合計	16,428	66,183
経常利益	3,517,460	3,311,148
特別損失		
固定資産除売却損	3,312	4,863
貸倒引当金繰入額	14,677	—
賃貸借契約解約損	3,950	—
特別損失合計	21,939	4,863
税引前四半期純利益	3,495,520	3,306,284
法人税、住民税及び事業税	1,590,000	1,505,000
法人税等調整額	△117,591	△81,699
法人税等合計	1,472,408	1,423,300
四半期純利益	2,023,112	1,882,984

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年8月21日 至平成21年11月20日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年8月21日 至平成22年11月20日)
売上高	6,581,188	7,274,075
売上原価	3,219,362	3,556,776
売上総利益	3,361,826	3,717,298
販売費及び一般管理費	2,468,760	2,856,247
営業利益	893,065	861,051
営業外収益		
受取利息	3,959	5,398
受取配当金	150	150
為替差益	4,974	270
受取家賃	11,344	11,049
受取補償金	—	2,958
その他	10,047	7,309
営業外収益合計	30,476	27,135
営業外費用		
不動産賃貸原価	3,513	4,235
その他	596	3,920
営業外費用合計	4,110	8,155
経常利益	919,432	880,031
特別損失		
固定資産除売却損	50	3,827
貸倒引当金繰入額	△2,934	—
賃貸借契約解約損	3,950	—
特別損失合計	1,066	3,827
税引前四半期純利益	918,365	876,204
法人税、住民税及び事業税	458,000	429,000
法人税等調整額	△65,923	△50,492
法人税等合計	392,076	378,507
四半期純利益	526,289	497,697

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年11月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	3,495,520	3,306,284
減価償却費	319,386	363,051
長期前払費用償却額	9,943	11,146
貸倒引当金の増減額(△は減少)	21,276	△15,086
賞与引当金の増減額(△は減少)	186,780	198,637
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△50	△20,600
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12,927	17,823
受取利息及び受取配当金	△11,351	△15,308
支払利息	376	—
固定資産除売却損益(△は益)	3,312	4,863
賃貸借契約解約損	3,950	—
売上債権の増減額(△は増加)	△308,691	△330,670
たな卸資産の増減額(△は増加)	226,811	543,487
未収入金の増減額(△は増加)	△25,775	△81,875
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,780	214,120
未払消費税等の増減額(△は減少)	124,150	△66,416
未払金の増減額(△は減少)	48,593	72,278
預り敷金及び保証金の受入による収入	14,080	30,000
その他	137,794	182,653
小計	4,242,254	4,414,390
利息及び配当金の受取額	1,039	1,944
利息の支払額	△294	—
法人税等の支払額	△1,340,358	△1,921,094
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,902,641	2,495,241
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社出資金の払込による支出	—	△160,000
有形固定資産の取得による支出	△821,828	△1,235,564
無形固定資産の取得による支出	△7,979	△60,964
貸付けによる支出	△596	△1,590
貸付金の回収による収入	413	1,062
長期前払費用の取得による支出	△23,484	△12,404
差入保証金の差入による支出	△192,671	△246,974
差入保証金の回収による収入	19,068	11,954
建設協力金の支払による支出	△152,000	△236,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,179,078	△1,940,980
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△460,000	—
自己株式の取得による支出	△154	△29
配当金の支払額	△155,948	△209,059
財務活動によるキャッシュ・フロー	△616,103	△209,089
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,107,459	345,170
現金及び現金同等物の期首残高	2,220,640	2,757,813
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,328,100	3,102,984

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 仕入実績

当第3四半期累計期間の仕入実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第3四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年11月20日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
自転車	7,908,103	102.0
パーツ・アクセサリー	2,137,199	104.1
その他	364,444	94.3
合計	10,409,748	102.2

(注) 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第3四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年11月20日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
自転車	15,040,173	105.6
パーツ・アクセサリー	4,827,503	106.6
ロイヤリティ	103,259	137.2
その他	2,495,971	112.7
合計	22,466,907	106.7

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 総販売実績に対する販売割合で10%以上の相手先はありません。